

平成26年度 宇都宮市立岡本北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

【基本目標】

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童を育成する。

【具体目標】

「健康で明るい子ども」「よく考えて判断できる子ども」「思いやりのある子ども」「ねばり強く進んで実践する子ども」

【子どものスローガン】

つよく やさしく かしい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、創意と活力にあふれ、児童の心を動かす教育活動を展開するとともに、「安心して通うことのできる学校」「自分の力を発揮できる楽しい学校」「きまりを守り互いに尊重し合う学校」「保護者や地域から信頼される学校」を目指した学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 健康で明るい子どもを育てる
 - 自らあいさつをしたり発言したりする態度の育成
 - ・ 発達の段階に応じた基本的な生活習慣の定着
 - 食の大切さについての意識の高揚と日常的な運動量の確保
 - ・ 命の大切さを感じさせ豊かな感性を磨く指導や体験的活動の充実
 - きまりの意義の理解促進と規範意識の高揚
- (2) よく考えて判断できる子どもを育てる
 - ・ 基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得
 - 主体的な言語活動の充実による、思考力、判断力、表現力の向上
 - 適度な家庭学習等をととした、学ぶ習慣の定着と学習意欲の向上
 - ・ 教職員自身による心の変化の演示や、児童の心の状況の見取りなど、指導技量の向上
 - 互いに授業を見合い切磋琢磨し考え合える教職員集団づくりの推進
- (3) 思いやりのある子どもを育てる
 - ・ 児童の言動等へのきめ細かな対応と、教職員自身の言動に関する意識の高揚
 - ・ 命の大切さを感じさせ、危険への予知能力や判断力を身に付けさせる指導の充実
 - ・ 互いの意見や考えを尊重し合いながら切磋琢磨する雰囲気醸成
 - ・ 望ましい集団づくりの推進と、全校体制による、いじめ・不登校の予防、対応
 - ・ 弱い立場の児童の頑張りを認め褒め合う雰囲気づくりの推進
- (4) ねばり強く進んで実践する子どもを育てる
 - ・ 深い児童理解と、一人一人のよさが生きる教育活動の推進等による自尊感情の高揚
 - 児童自身が立てた目標を実現できる機会の充実
 - ・ 自力で困難を克服する経験を積ませることなどによる挑戦意欲の高揚
 - ・ 創意工夫しながら課題を解決する機会の充実等による、主体的な対応力の向上
 - 自分の将来を思い描いたり生き方について考えたりする機会の充実
- (5) 開かれた学校づくりを進め、地域に根ざした教育活動の推進に努める
 - ・ 家庭や地域との連携をととした、児童の健全育成を共に図る雰囲気醸成
 - ・ 学校公開や広報活動の充実等による、学校の教育活動への理解促進
 - ・ 地域の教育力を活用した教育活動の充実
 - 小中一貫教育に関する具体的取組の推進等、異校種との連携の強化

【古里地域学校園教育ビジョン】

児童生徒一人一人に、将来の夢や希望を持たせるとともに、「学ぶこと」、そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立を目指す教育に小中が一貫して取り組む。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

○児童一人一人のよさや可能性を伸ばし、困難に立ち向かうたくましい児童の育成

【学習指導】

・ 基礎・基本の定着と、言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成

【児童生徒指導】

・ 自他を尊重し生き生きと自己表現できる児童の育成 ・ きまりを守り、互いに協力し合う児童の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

・ 自ら考え生き生きと運動に取り組む児童の育成 ・ 健康や安全を意識し、考えて行動する児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、活気があり、明るく活気がある」⇒<u>児童の肯定的回答 85%以上</u>	①「つよく やさしく かしこい子」のスローガンの浸透を図り、児童会活動の充実など、活気のある学校づくりを進める。 ②学校生活を楽しく送れるように北小タイムや集会活動などにおける主体的な取組を重視し、その活性化を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は大切なところをしっかりと教え熱心に指導してくれる」⇒<u>児童の肯定的回答 85%以上</u>	①<u>学校経営方針や学習指導要領の理解を深め、協働して教育活動に取り組む。</u> ②児童一人一人の状況を的確に把握・評価するとともに、話をよく聞き、声をかけ、よさを認め伸ばす指導を繰り返す。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体のアンケートの「児童は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒<u>保護者の肯定的回答 80%以上</u>	①「学習の約束」「生活の約束」を各教室に掲示する。約束の内容と意義を児童・保護者・職員が共有し、全職員・保護者が共通理解の下、指導に当たる。 ②月に一度の生活指導部会で指導の重点を絞り、全職員で指導を繰り返す。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体のアンケートの「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」⇒<u>児童の肯定的回答 85%以上</u> <u>保護者の肯定的回答 80%以上</u>	①<u>学習のねらいを明確にし、T・T、少人数指導、習熟度別学習等、個に応じた効果的な指導や支援体制を工夫する。</u> ②各教科等において、<u>基礎的・基本的な知識や技能が確実に定着するように、教材教具や教育機器等を活用したり、授業の展開を工夫したりして、分かる魅力ある授業を実践する。</u>		【達成状況】 【次年度の方針】
	A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】	①いじめはいかなる理由でも許されないことを、朝の会、帰りの会、道徳の時間、学級活動などを通して継続的に指導する。		【達成状況】 【次年度の方針】

全体のアンケートの「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」⇒児童の肯定的回答 85%以上	②いじめに関するアンケート調査、教育相談、いじめ対策委員会、ケース会議等を計画的にかつ必要に応じて実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。	
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課・授業・行事などは適切に実施されている」⇒教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	①PTA・地域諸団体との十分な調整を行いながら年間行事予定を作成するとともに、週案による時数管理、学校行事終了後の振り返りにより、次年度の教育課程の工夫改善を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学年便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	①年2回の学校公開土曜授業を、学校を知ってもらう機会として効果的に実施する。 ②学校・学年だよりや各種便りの定期的な発行と学校ホームページの定期的な発信に努めるとともに伝える内容の精選と見やすく分かりやすい表現について工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等が連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者・教職員の肯定的回答 80%以上	①地域人材や専門家派遣人材を活用した授業を各学年 1 回以上は実施する。 ②地域との連携事業(学校公開・地域協議会・安全対策連絡会・民生委員との情報交換等)を積極的に進める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①清掃の手順を明確にしたり、身の回りの整頓やごみを落とさない、落ちているごみは拾うなどの指導を学級活動で行ったりし、環境の美化に自主的に取り組める児童の育成に努める。 ③清掃強化週間における働きかけや清掃コンクールの実施等とおして児童への清掃への意識を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】

		B1 「魅力ある学校づくり地域協議会」の経営参画を積極的に進めている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等が連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	①学校で課題となっていることを積極的に説明し、協議会の意見を反映するとともに、一体となって課題解決にあたる。	【達成状況】 【次年度の方針】
教育活動の状況	生活	A10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じたあいさつをしている」⇒児童と保護者の肯定的回答 80%以上	①児童・保護者・地域・教職員が協力して互いにあいさつをする習慣づくりを目指す。特に教職員は、率先してあいさつを繰り返す。 ②児童会によるあいさつ運動や、あいさつコンテストなど、あいさつに自ら取り組めるような、機会を多く設定する。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は時と場に応じた言葉づかいをしている」⇒児童と保護者の肯定的回答 80%以上	①相手の立場や時と場に応じた正しい言葉づかいを発達段階に応じて具体的に示し、児童・保護者・地域住民・教職員の共有のもとで、よりよい言語環境へ向けて指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	健康・体力	B2 児童は、互いに協力して活動している。 【数値指標】 独自アンケートの「児童は、学校行事や児童会活動、縦割り班活動などにおいて、協力して活動している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①学級等において、日常的に協力することの大切さを指導するとともに、道徳の時間においても協力・協調の態度を育む指導を重点化する。 ②学級の係活動や児童会活動、学校行事等において、児童が協力して活動する場を意図的に設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は、休み時間や放課後など、積極的に運動をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①教科体育や体育的行事を生かし、児童に積極的に運動するよう働きかける。 ②児童が、目標を決めて進んで取り組めるように、各種の検定やがんばりカードなどを工夫改善し、指導に生かす。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】	①学級懇談における話合いや食育だより等を通して、食育に対する関心を高め、食の大切さについて保護者への啓発を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

	全体アンケートの「好き嫌 いなく給食を食べている」 ⇒<u>児童の肯定的回答 80% 以上</u>	②給食の偏食の多い児童に対して は、個別指導を実施し、状況に応じ た指導を充実する。	
	B3 <u>児童は、進んで自分 の健康づくりに取り組 んでいる。</u> 【数値指標】 独自アンケートの「自分 は、健康に気を付けて、規 則正しい生活をしてい る。」⇒<u>児童の肯定的回答 80%以上</u>	①う歯や近視等の疾病の予防や治療 に取り組めるよう、保護者へ呼びか ける。 ②早寝早起きやテレビ・ゲームの時 間など規則正しい生活の大切さにつ いて、日常的に指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
学 習	A14 児童は、進んで学習 に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童 は、授業中に進んで話し合 うなど、積極的に学習して いる」⇒<u>児童の肯定的回答 80%以上</u>	①魅力のある学習課題及び提示の仕 方を工夫するとともに、「分かる」「で きる」授業の展開や、一人一人への 支援に努める。 ②児童が「話す」スキルを習得でき るように、「話したい」テーマや場を 設定したり経験の場を増やしたりす るよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 児童は、落ち着いて 学習に取り組んでい る。 【数値指標】 全体アンケートの「児童 は、授業中に先生や友達の 話をよく聞くなど、落ち着 いて学習している」⇒<u>児童 の肯定的回答 80%以上</u>	①教科の特性に応じた指導の中にあ っても、共通の「学習の約束」「話し 方・聞き方」をもとに発達段階に応じ た指導を全職員で継続して取り組 む。 ②特に中学年以上の児童には、多く の教職員が指導に当たれるよう、担 任外教職員による授業や担任同士の 授業交換等を進める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B4 <u>家庭学習を続ける習 慣が身についている。</u> 【数値指標】 独自アンケートの「宿題や 自主学習を決めた時間に 行っている。」⇒<u>児童・保 護者の肯定的回答 80%以 上</u>	①児童の実態に応じて、宿題及び学 習の内容や分量を工夫し、家庭学習 の習慣化を図る。 ②学年ごとに、「家庭学習のすすめ」 に基づいた、家庭学習の内容と方法 を具体的に示し指導する。 ③家庭学習の定着の意義や学校での 指導内容を、学級懇談会や学年だよ り等で保護者に知らせ、理解や協力 を得られるように努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
本 校 の 特	B5 <u>自分の考えをもち、進ん で表現し、学び合える児童 を育成する。</u> 【数値指標】	①児童が必要を感じたり、関心・ 意欲をもって取り組んだりできる言 語活動の場を工夫する。	【達成状況】 【次年度の方針】

色 ・ 課 題 等	<u>独自アンケートの「児童は、思ったことや考えたこと、感じたことを、自分の言葉で表現している。」⇒児童の肯定的回答80%以上</u>	<u>②授業中、児童が安心して自分の考えを話し合える場面を意図的・計画的に設定する。</u>	
-----------------------	---	--	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。